

# 昭和女子大学

鶴田佳子研究室

飯塚チーム

「三茶・三宿における「まちの輪」を生み出す情報発信」

参加メンバー（敬称略）	
チームリーダー：飯塚かおる（3年）	
田口 萌恵（3年）	勝呂 沙紀（3年）
星原 早紀（3年）	鈴木 智恵（3年）
大平 志帆（3年）	桂川 望華（3年）
廣瀬 絵梨（3年）	
指導教員：鶴田 佳子（人間社会学部現代教養学科 准教授）	

## テーマ：三茶・三宿における「まちの輪」を生み出す情報発信

### 概 要

昭和女子大学のあるまち、三軒茶屋と三宿。毎日のように利用している身近な場所である。しかし、クラスの友人にきくと、意外と三軒茶屋、三宿で食事をしたり、遊んだりしていない。美味しいお店やフラッと散歩したくなる公園があるのに、知らない学生が多い。鶴田研究室では、まちあるきや商店街と取り組んでいる活性化のイベントなど、まちと関わることで三軒茶屋・三宿の楽しさ、魅力を実感している。下町のような人情ある商店街や住民の方々、新しいことにチャレンジして起業したお店など、刺激も多い。この魅力を学生に伝えたい。そして、まちの魅力を新しく住み始めた住民の方にも伝えたい、と考え、今回の提案に至った。

まず、「魅力的なまちとはどんなまちか？」という点からリサーチを開始した。「住みたい街ランキング」で多くの人が住みたいと思う要素から、そして、三軒茶屋と三宿それぞれの魅力と問題点も検証する。

その結果、住みたい3つの条件が抽出され、三軒茶屋も三宿も条件は整っていることが確認できた。しかし、それだけでは、他のまちとの違いが見えてこないと考え、「住みたい」よりも「住んでよかった」ということが大切であり、「住んでよかった」と思う人は、まちへの「愛着」があると考えた。そして、まちへの愛着は、まちと関わること、つまりまちを「体験」することが重要だということに気が付いた。

まちを体験し、愛着もってもらうために、まちと関わっていない人たちをどうまちにつなぐかが課題となる。三軒茶屋・三宿での人と人、人とまちがつながる場とはどのような場であるか、その場は問題を抱えていないだろうか、と関係各所にリサーチを行った。

まちや人とつながる場として、三軒茶屋には商店街やイベントが多数あり、空間としては「ふれあい広場」や昔ながらの銭湯がある。三宿は商店街は1つであるが、誕生して数年、個性的な店舗があつまり、世田谷パン祭りのような規模の大きなイベントで区外からも多くの来街者を集めている。異なるまちの雰囲気をもつ2つのまちであるが、大学を挟んで並びあうまちであり、2つのまち同志も連携しながら、魅力を発信していくと効果的である。

人と人、まちと人をつなぐために、鶴田研究室ではつながりの輪、「まちの輪」づくりに力を注いでいる。町会や商店街といった地域の方々や企業とも連携しながら、既存のつながりも活かしつつ、新たな「まちの輪」をイベントを通して形成する手伝いを行っている。この「まちの輪」に新たに転入してきた住民や私たち学生のような昼間の住民も加えて「まちの住民」として考え、「まちの輪」に加わってもらうために情報発信を行う。2つのまちのいくつかのイベントでブログやチラシなど、イベントをきっかけに日常のまちの魅力を伝える情報発信を提案し、すでに実施してきた。効果はこれからであるが、今後も継続して試みていく予定がある。地域と大学はすでに連携し、取り組んでいるため、今後は行政の力も借りて、さらなる魅力の伝達を行っていききたい。

## 1-1. 三軒茶屋・三宿の目指すまちの姿を考える

三軒茶屋と三宿のまちへ提案するにあたり、まず人々がまちへのイメージについて調べることから始めた。Walker plusの「住みたい街ランキング2014」から人々がまちに求めているものを挙げ、更に三軒茶屋・三宿ならではの「目指すまちの姿」を考える。

### ◆ 住みたい街ランキング2014 (Walker plus)

◆ 人々がまちに求めるもの

順位	場所
1位	吉祥寺
2位	中目黒
3位	自由が丘
4位	中野
5位	池袋

- ✓ 利便性
- ✓ 整った環境
- ✓ まちの雰囲気

## 三軒茶屋・三宿エリアは まちに求める条件が整っているか？

### 利便性

- ・交通の便が便利  
(通勤・通学など)
- ・買い物に便利  
(商店街、スーパー)

### 整った環境

- ・住宅街が閑静
- ・緑が多い  
(公園や緑道)

### まちの雰囲気

- ・下町っぽさ
- ・おしゃれ

## 1-2. 3つの条件からみる三軒茶屋・三宿エリアの特徴

次にまちあるきを通して2つのまちを観察し、3つの条件からみるエリアの特徴を確認する。

三軒茶屋	利便性	整った環境	まちの雰囲気
三宿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の便は三軒茶屋か池尻大橋が駅になるため駅まで行くのに15分ほどかかる。</li> <li>・買い物では有名な店舗はあるが利便性の高い店舗は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅から少し離れた閑静な住宅地が広がっている。</li> <li>・小さな公園がいくつもある。緑道もあり、憩いのスペースとなっている。</li> <li>・駅から離れたところにもあり閑静な住宅地が広がっている。</li> <li>・世田谷公園もあり、子供の遊び場となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下町っぽさは商店街など昔からある場所から感じることができる。</li> <li>・おしゃれなお店も多く、華やかなおしゃれな街というイメージをもたれている。</li> <li>・下町っぽさはない。</li> <li>・隠れ家的スポットやおしゃれなレストラン、カフェが多く、三軒茶屋同様おしゃれな街というイメージをもたれている。</li> </ul>

■三軒茶屋：利便性は良いが、他のまちの人がわざわざ来たくないような店舗が少ない。

■三宿：利便性の面では欠けているが、他のまちの人がわざわざ来たくない店舗が多い。

■公園や緑道など環境は2つのまちとも整っており、異なるまちの雰囲気をもち、  
 ▶三軒茶屋と三宿、2つのエリアをあわせて捉えることで強みとなる！

## 2-1. 三軒茶屋・三宿の概要【現状】

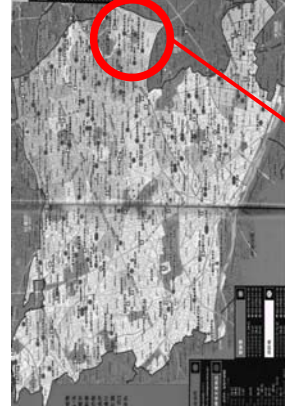
### ■ 三軒茶屋

- ・世田谷区の世田谷地域(東部に位置し、目黒区に隣接)。
- ・三軒茶屋は、渋谷から東急田園都市線で2駅。
- ・世田谷線の始発駅。バスへの乗換も便利。
- ・三軒茶屋の人口：30,753人  
(せたがや統計情報館 平成26年9月1日)
- ・昼間人口：49,298人。夜間人口：31,258人  
(東京都総務局統計部 東京都の統計 平成22年)

通勤・通学での昼間のまち利用者が多い

### ■ 三宿

- ・三軒茶屋駅からも池尻大橋駅からも15分程度離れている。
- ・閑静な住宅街が広がる
- ・三宿の人口：7,973人 (せたがや統計情報館 平成26年9月1日)
- ・昼間人口は7,034人で夜間人口は7,925人である。  
(東京都総務局統計部 東京都の統計 平成22年)
- ・夜間人口の方が多いので、通勤通学者よりも居住者の方が多い。
- ・こだわりの人気店が点在し、区外からも訪れる人が多い。



世田谷区全図

### ■ 三軒茶屋・三宿エリアの位置



## 2-2. 三軒茶屋・三宿の特徴①商店街とイベント

三軒茶屋には、12の商店街が、三宿には三宿四二〇商店会があり、それぞれイベント等、活性化への取り組みを行っている。まち全体が一体となるイベントとして、伝統的な「例大祭」と1997年からはじまった「三茶de大道芸」があり、いずれも毎年10月に開催されている。

鶴田研究室では、下の谷商店街、太子堂商店街、三軒茶屋商店街、三宿四二〇商店会と共にまちの活性化を図り、イベントの企画・運営等に関わっている。

### 太子堂商店街

三茶まち道楽 (年4回)  
 「住んでるまちで、もっと遊ぼう。」をモットーに、太子堂商店街の方を中心に開かれるイベントである。

### 三軒茶屋 まち全体



三軒茶屋・三宿

### 三茶de大道芸

(毎年10月)  
 三軒茶屋駅周辺、キャロットタワー、周辺の商店街の広規模で開催されるイベント。まち全体が「アートタウン」に愛おしい、およそ100組のアーティストたちが人々を楽しませている。

### 太子堂八幡神社

例大祭 (毎年10月、第2土・日曜)  
 神社の境内、参道そして神輿が練り歩くまち全体が祭りの会場となる。三軒茶屋を担ぐのは三宿町会。

### 下の谷商店街

したのやえんにち (毎年11月)  
 下の谷で毎年行われる「もちつき大会」に合わせて2007年から商店街と町会の方々と一緒に鶴田研究室で企画・運営しているイベント。

### 三宿四二〇商店会他

世田谷パン祭り (毎年10月)  
 美味しいパン屋とパン好きが集まる「パンを楽しく祭り」。鶴田研究室では、企画・運営に携わり、パンだけでなく地域の魅力の発信にも力を入れている。

## 2-3. 三軒茶屋・三宿の特徴②つながる場（三軒茶屋）

### A: ふれあい広場

- ・2014年3月、茶沢通りに面して整備された**世田谷区**の施設
- ・屋根があり、雨の日でも安心して利用可能。
- ・平日は主に人々の休憩所。土日祝日には様々なイベントを開催。
- ・ふれあい広場のお披露目会で三軒茶屋のゆるキャラコンテスト開催。

「三茶のさんちゃん」に決定。

### B: 歩行者天国（茶沢通り）

- ・日曜祝日13時から17時まで。太子堂商店街と鞆座商店街が通りに面する。

### C: 銭湯（公衆浴場）

- ・三軒茶屋には銭湯が**6か所**ある。（2014年現在）
- 常盤湯、富士見湯、千代乃湯、駒の湯、弘善湯、栄湯
- ・季節の趣向を凝らした「季節湯」を実施。
- 5月5日の菖蒲湯、10のふるまつり、12月冬至のゆず湯、年明け早朝の朝湯
- ・銭湯には背景画や坪庭などがあり、昔ながらの懐かしい風景が見られる。
- ・世田谷浴場組合主催「世田谷湯屋めぐり」スタンプラリーを実施。

（開催期間：2014年8月から10月まで）



ふれあい広場でのイベント「ぐるり瀬戸内コーポアスタ」



「駒の湯」の正面

## 2-5. 三軒茶屋・三宿を「住んでよかったまち」へ

三軒茶屋・三宿エリアは、「住みたい街」としての3つの条件は整っていた。

しかし、この3つの条件を満たすまちは、ほかにもある！

さらに魅力的なまちには何があるのか？



愛着

体験

さらに魅力的なまちであるために、住民の人々に**愛着**をもってもらうことが大切！

最近、住民の人々のまちに対する満足度が低いように感じる。私たちは満足度を上げるためにまちに対する**愛着**が必要である。**愛着**は人々のまちでの**体験**によって生まれる！

まちを体験するためには必要なことは、人と人、人とまちのつながり、輪づくりである。情報発信を利用して小さな輪を作り、つながりの場を提供することによって人々にまちでの経験を増やしてもらい、まちに対する愛着をもってもらう。

そしてまちを好きになってもらい、住んでよかったと思ってもらえるようなまちを目指していきたい。

## 2-4. 三軒茶屋・三宿の特徴②つながる場（三宿）

### A: ID世田谷ものづくり学校

- ・2004年3月に廃校となった旧池尻中学校の跡地を使用。
- ・デザイン、建築、映像、アート、ファッションなど多分野にわたるクリエイターの**ワーキングスペース**となっている。
- ・ものづくりの楽しさを体感出来る**ワークショップ**も開催している。
- ・カフェもあり、IDで働くクリエイターや地域の方々の憩いの場となっている。

クリエイティブな場として、人々が集い、つながる

### B: せたがやがやがや館

- （区立健康増進・交流施設）
- ・世代の方々の健康づくりのための運動の場、サークル活動やレクリエーション等により利用者同士の交流が図れる場。
- ・近くの世田谷公園を活用した、健康づくりの交流も図られている。

### C: 世田谷公園

- ・噴水広場や屋外プール、テニスコート、軟式野球場、スケートボード広場などがあり、施設が充実した区立の公園
- ・ミニSL「ちびくろ号」は、水・土日・祝日運行。
- 毎年秋には「せたがや子どもSLまつり」が開催される。
- ・公園内の「世田谷プレーパーク」は、子供たちの冒険遊び場、外遊びの場として、地域の住民とプレーリーダーが中心となって作り上げている。

豊かな自然と多世代がスポーツ&遊びを通して、つながる



ID世田谷ものづくり学校の入り口「世田谷パン祭り2014」の会場としても活用



世田谷公園の噴水広場

## 3-1. 三軒茶屋・三宿を対象とした提案

「まちの輪」を生み出す「情報発信の提案」

人々が住み、通学・通勤・通勤のため利用するまちにおいて、さらに魅力的なまちをつくるために必要なのが「まちの輪」→人と人、人とまち、まちとまちをつなぐもの

### ①既存の「まちの輪」の存在

まちには、町会での住民のつながりや、商店街のつながりなど、もともとそこのまちの輪がいくつもある。

### ②既存の「まちの輪」が崩れかかっている

新しい住民として特に若い世代が流入してくると、町会の活動に参加しないことや屋間、まちを利用しないことが発生。  
→人とつながり、まちとのつながりが薄れる。

### ③新たな「まちの輪」の創出

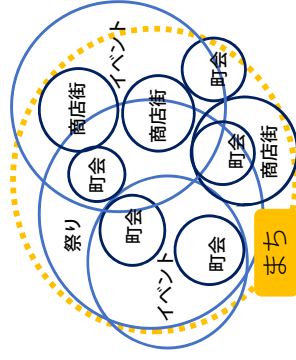
公共施設やイベント等を中心とする新たな「まちの輪」も生まれている。

しかし…

### ■問題点

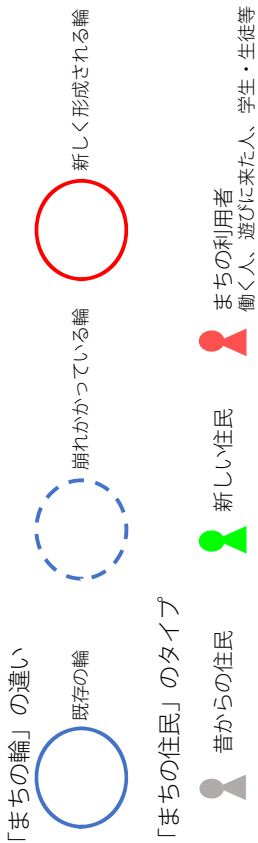
→まちの輪に所属しているものの、関わりをもたない人が多い。

「まちの輪」のイメージ

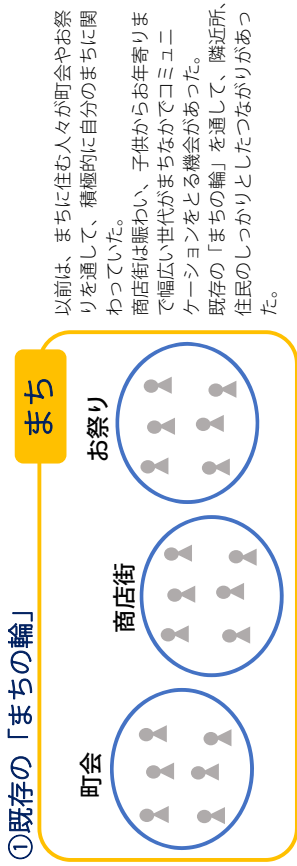


屋間のまちの利用者（働く人や遊びに来た人、学生・生徒等）も従来の住民に加えて「まちの住民」とし、  
→三軒茶屋・三宿のまちの住民へ新たな「まちの輪」づくりを提案する

### 3-2. 「まちの輪」の変化

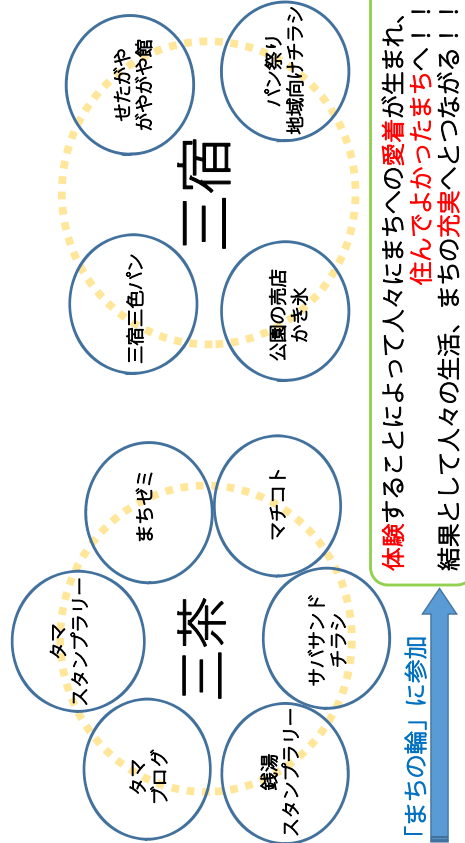


#### ①既存の「まちの輪」

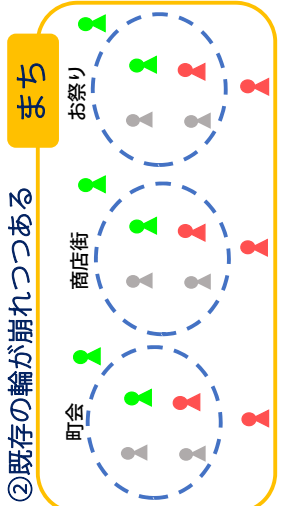


### 3-3. 情報発信によって生まれる「まちの小さな輪」

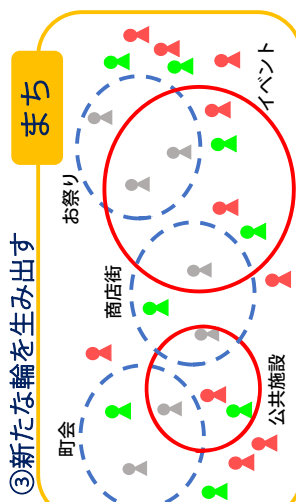
「まちの輪」に入っていない「まちの住民」へ「まちの輪」の存在を伝える「情報発信」と新たな「まちの輪」を提案。大学生にももって地域と関わり、まちを利用してほしい！  
 →既存の「まちの輪」に新たな参加者を加えるために「小さな輪」をつくることで入りやすくする。  
 ここで、三軒茶屋・三宿エリアで大学（鶴田研究室）と地域がコラボして実施している事例を紹介する。



#### ②既存の輪が崩れつつある



#### ③新たな輪を生み出す



イベントや公共施設が中心となり、新たな「まちの輪」が創出される。しかし…

■問題点！  
 新たな「まちの輪」にも参加しない「まちの住民」が多く存在する。  
 もともとあった「まちの輪」も人不足のため、崩壊しかけている。

#### ■提案：

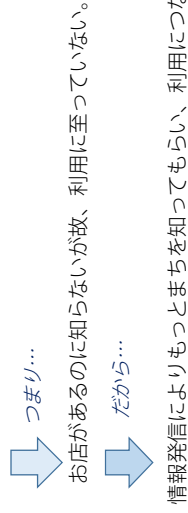
「まちの輪」に入っていない「まちの住民」へまちでつながる楽しさ、魅力を伝え、輪に入ってもらおう。輪に加わり、まちを利用することで、まちへの愛着をもってもらおう。そのための「情報発信」が重要！

従来の住民の世代交代や新たに転入してきた住民の存在、職場や学ば場としての通勤・通学で昼間のみ滞在する人や遊ぶために立ち寄る来街者など、まちの利用者が混在するようになる。

→昔から存在する「まちの輪」に新しい人が入りにくくなり、参加はごく一部となる。輪の継続が困難な場合も。

### 3-4. 三軒茶屋の問題解決のための小さな「まちの輪」

- ・ 大型スーパーやチェーン店が多くあるため商店街の利用者(特に若者)が減少。
- ・ 渋谷等の繁華街に行ってしまう。
- ・ お店やイベントを活用しきれていない。
- ・ 銭湯など昔ながらのお店の減少。



→そこで人が出会う…

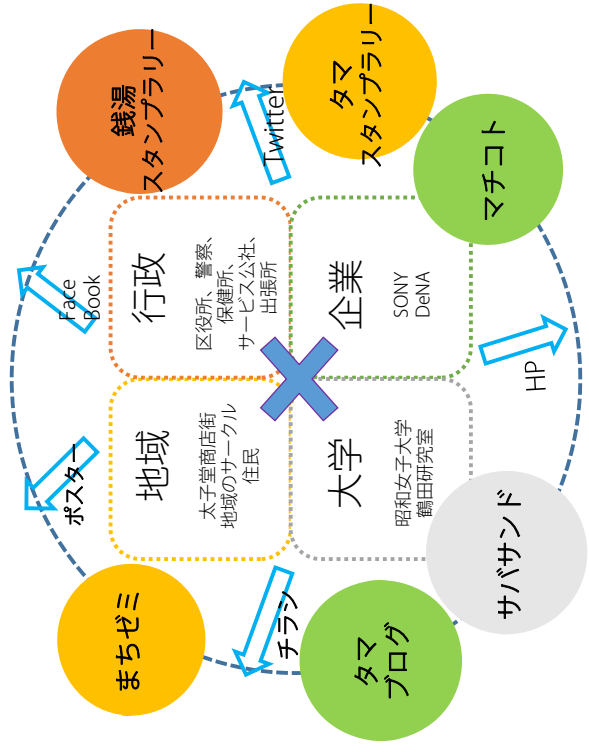
→コミュニケーションが生まれる。

→そして……!!!

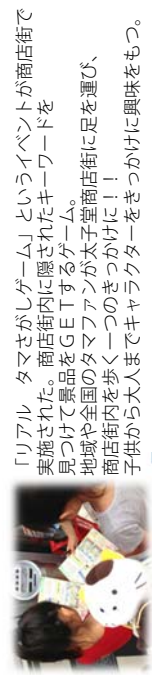
→小さな輪が生まれる！！



### 3-5. 三茶エリアにおける「まちの輪」と情報発信



### 3-6. タマスタンプラリー 企業 x 地域



「リアル タマさがしゲーム」というイベントが商店街で実施された。商店街内に隠されたキーワードを見つけて景品をGETするゲーム。地域や全国のタマファンが太子堂商店街に足を運び、商店街内を歩く一つのきっかけに！！子供から大人までキャラクターをきっかけに興味をもつ。

スタンプラリーを通じて、まちを知ってもらおう

期間中、実際にSONY担当者の方と地域の子供と共に「リアル タマさがしゲーム」を行った。三茶を歩き回り楽しんでもらいたい！

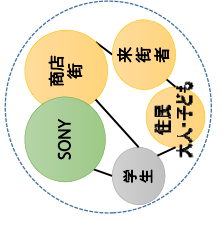
店や場所の新たな発見をしてもらいたい！  
 という思いからこの企画を通して  
 学生も参加し「まちの輪」を広げる

商店街で行うことで地元の人々だけでなく来街者の方々とのコミュニケーションが生まれる。



リアルタマさがしゲームのチラシ

三茶の小さな輪①



### 3-7. マチコト

街の人がつくる街の情報サイト



地域専用のインターネットコミュニティサイト。まちの情報収集や地元の人同士の相談、意見交換が気軽に行うことができる。住まいのまちの人だけと実名で情報を共有することで信頼できる情報の交換が行われ、お互い便利な生活を送ることができる。完全無料で相談、意見交換、防災・防犯情報などの共有ができる地域の人のためのプライベートネットワーク。

サイトを通過して、まちの住民として情報発信

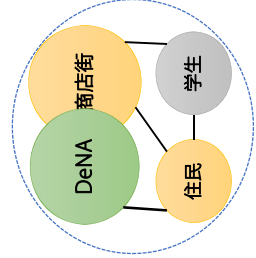
屋間のまちの住民である私たち学生も住民登録を行い、地域の方と情報を交換。

学生目線で地元のお勧めスポット、お店やイベントの情報提供

地域の人のコミュニケーションを広げる場。ちょっとした意見交換や挨拶によって、より住みやすいまちを作ることが目的。

### 企業 x 地域

三茶の小さな輪②



<https://www.machikoto.me/>

### 3-8. まちゼミ : おしえて! まちの先生



まちゼミミーティングの様子

まちの人が知って得るような専門的なお話をプロの方に分かりやすく説明して頂く。講義と質疑応答で1時間、月1回程度行う。少人数のワークショップ型とし、主に商店街、イベント「まち道楽」で宣伝。第1回目として、太子堂商店街の葬儀屋さんにまちゼミをおこなっていただく予定。

まちゼミを通じて、まちを知ってもらおう

学生がまちなかで活躍している「プロ」に事前にお話をうかがい、まちゼミの企画・宣伝方法を考案。

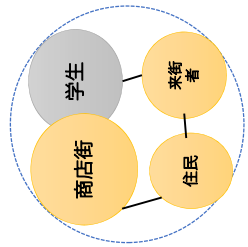
学生が地域の方と一緒に企画のアイデアを出し、チラシやSNSなどで告知する。

「おしえて! まちの先生」という名前は、地域の方々に名前を目に留めてもらいたいと思う、提案。まずはこの企画に興味をもってもらい、参加につながればと願っている。

- 「まちの先生」は地域の方
  - 第1回(予定) : 葬儀屋さん
  - ゼミ内容(案) : 葬儀でのマナー
  - 第2回(予定) : スペイン料理店
  - ゼミ内容(案) : アヒージョを作るう

■ まちゼミ参加者は、住民と来街者・学生

三茶の小さな輪③



### 3-9. サバサンドとチラシ 地域×大学

三茶の小さな輪④



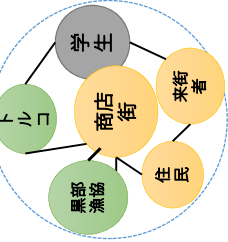
サバサンド

イベント「まち道楽」でトルコ・イスタンブールの港で売られているサバサンドを販売。普段聞きなれないサバサンドとはどのようなものなのか、ただ食べるだけでなく、サバサンドや太子堂商店街・まち道楽と黒部漁港の関わりについて知ってもらいたいというのが私たちの思い。その情報を私たちが伝えることでまちの情報に加え、他の情報を得ることができ。興味をもってもらい、また来たいと思う情報を提供をしたい。



サバサンドの販売と同時にサバサンドに関するチラシを作成・配布。サバサンドがどういったものであるか、商店街やまち道楽とどうつながっているのかを掲載。情報発信をして誰もが読みやすいチラシになるように心がけた。

**サバサンドやチラシをツールに人々のコミュニケーションのきっかけをつくる！**



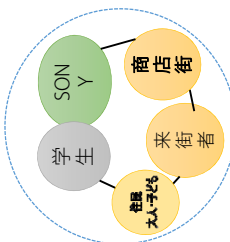
### 3-11. タマブログ 地域×企業×大学

三茶の小さな輪⑥



八幡神社 取材の様子

月に1回程度、タマと一緒に散歩したシチュエーションでぬいぐるみを入れた写真と共にまちを紹介する。実際に、私たち学生が太子堂商店街のお店や三茶・三宿エリアの周辺地域、イベント等へ行って調査。「タマ散歩ブログ」と題し、日記風にブログを更新。商店街・DeNAのHPや大学のブログにリンクを貼り周知に努める。



地域の方や学生、来街者など多くの人に太子堂商店街やイベントなどを知ってもらい、よりまちの魅力に気がついてもらいたい。「うちのタマ知りませんか」が太子堂商店街のキャラクターだと知ってもらったと同時にタマというひとつのキャラクターをきっかけにまちと関わりを持ってもらいたい。

**企画を通し、私たち学生が企業や商店街と連携し、キャラクターの力も借りて、まちの魅力を発信！**

SNSを活用して多くの人に三茶への関心を持ってもらう。地域の人はもちろん来街者へもまちの魅力を発信できる。



イベントまち道楽 取材の様子

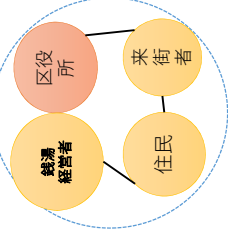
### 3-10. 銭湯スタンプラリー 地域×行政

三茶の小さな輪⑤



銭湯マップ (マップ内の・が銭湯)

三茶には昔から多くの銭湯がある。しかし、今では自宅にお風呂があるのが当たり前になったせいか年々利用者特に若者が減っている。そこで銭湯を利用するとスタンプがもらえる、それを集めるという企画を実施中。まちのどこに銭湯があるのかを知ってもらい、多くの銭湯を楽しむ利用してもらいたい。



浴場組合を区が支援

銭湯スタンプラリー台紙



銭湯がリラックスできる空間であること、また自宅のお風呂とは違い、人との出会いの場、人とコミュニケーションをとれる空間ということを利用者に再認識してもらいたい。

**銭湯、スタンプラリーを通して人と人、銭湯のオーナーと行政や利用者が繋がる。この繋がりを発展させるために私たちがマスコットやタマブログに掲載して情報発信を行う。**

銭湯巡りと共にまちを知ってもらいまちの情報を共有。

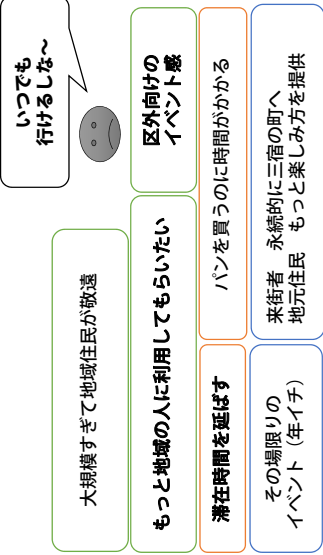
### 3-12. 世田谷パン祭り を活用した発信

三宿の小さな輪①

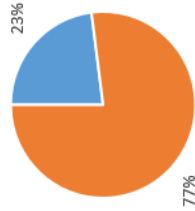
地域向けチラシの配布 → 新たなまちの楽しみ方を情報発信する

#### 【問題点】

2011年にスタートした美味しいパンを楽しむ世田谷パン祭り。徐々に規模が大きくなり、2014年は約2万人の集客を集めた世田谷を代表するイベントである。しかし、規模が大きくなるにつれて地域住民が敬遠している傾向が見受けられる。



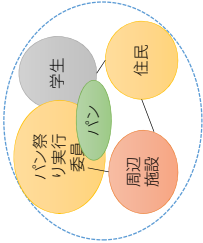
2013年 世田谷パン祭り  
来場者ふりわけ



世田谷区内からの来場者数、また会場周辺エリア (池尻1~4丁目、三宿1~2丁目) の来場者が少ないことが問題視されている。

『世田谷パン祭り本部実行委員会』調べ

### 三宿の小さな輪① 行政×地域×大学 地域の方へまちの情報発信：チラシ



パン祭りでの地域優先販売  
売手ラシの裏面に学生が  
取材した地域情報を掲載。  
池尻まちづくりセンター  
から町会を通じて、地域  
の方々へ配布。

パン祭りをきっかけに、普段利用していなかった施設  
や店舗の存在を知ってもらい、日常で利用してもらい  
たいと考案。

#### 効果・・・

- 世田谷パン祭りに関する情報+周辺施設の情報
- ▶新たなまちの楽しみ方を提案
- ▶人々の暮らしに彩りをプラスすることで、ま  
ちの魅力だけでなく、「まちの輪」へ加わる楽  
しみも伝える。

### 3-13. 世田谷公園の売店の存在を伝える情報発信

#### 三宿の小さな輪② 世田谷公園 売店活性化にむけた試み（人が集まる場所を目指す）

##### 【問題点】

「人がいるのか分かわらず近寄りがない」「売店としての認識がない」「主な収入源は缶ジュースの自販機」と言われていたほど、売店としての機能が生きておらず赤字経営で廃止寸前だった世田谷公園の売店を立て直そう！と世田谷サービス公社と昭和女子大学鶴田研究室とのコラボによって、【人が集まる売店】を目指す。

その第一歩として、夏季営業間にかき氷の販売をスタートさせる。 宣伝のポスター

#### かき氷の売上げデータ

- ・昨年度売上げ実績（9160杯/年）
- ・かき氷が売店全体売上げの27%を占める
- ・かき氷販売前年度と今年度販売実績の比較（売店全体の売上げが1.5倍UP）

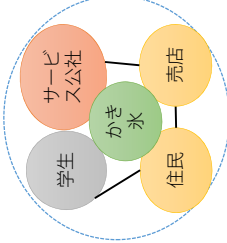
世田谷サービス公社提供

#### 黒字に転

かき氷の販売によって、来園者の売店の認知度アップ（購入者がかき氷のカップを持ち歩くことによって、さらに他の人に売店の存在を認知させることに成功）かき氷の販売力につられ、他の商品（アイスコーヒーや菓子パンなど）の売上げにも貢献した。



### 三宿の小さな輪② 行政×大学 公園の売店の活性化



世田谷公園は、世田谷パン祭りでも会場になる場所。  
イベント来場者（特に地域住民）にはぜひ売店を利用してもらいたい！  
売店については【地域情報チラシ】に掲載し、利用が促進されることを期待する。

かき氷は10月まで販売しているため、世田谷パン祭りをきっかけに新たな顧客を得たい。  
→売店の売上・周知につなげる。

パンを買ったあと、売店で喉を潤すものを買って、世田谷公園で遊んでほしい（更に売店の認知度UP・冬に向けた利用者の獲得）

#### 効果・・・

- かき氷の販売をきっかけに、売店の売上げ・認知度とも上昇。
- 売店を中心としてさらに公園に人が集まり、多世代が公園を利用する。（プールに向かう子供たちや噴水前で日焼けをする人など元々公園を利用していった人を中心に）

### 3-14. 三宿三色パンを通して三宿の魅力を伝える

#### 三宿の小さな輪③ 三宿三色パンを通してつながる輪

昭和女子大学現代教養学科では、世田谷パン祭りでは、世田谷四〇商店会とコラボをして三宿の「三」にちなんだ三宿名物「三色パン」をつくる企画がパン祭り年目から行われている。毎年、商店会にあるパン屋・店舗と企画、販売をしている。

#### 今回の提案

今年パンを通して三宿についてもっと知ってもらいたい、もっと楽しんでもらいたいという思いを込めた。  
ネーミングは「三宿サンサクパン」とし家族三世代で三宿を散策してほしい。  
三世代それぞれの三宿散策を提案！

#### 「三宿サンサクパン」に込めた思い

- 子ども・大人・お年寄り三世代の三宿で遊ぶ姿をイメージ。
- 子どもには公園で元気に遊んで食べてほしいコーン&チーズパン。
- 大人には三宿のお店めぐりをした後に公園のベンチで上品なアールグレイの香りを楽しむ紅茶&イチジクのスコーン。
- お年寄りには世田谷区立健康増進・交流施設せたがやがやがや館で囲碁を打つ台間につまむ黒豆&抹茶あんぱん。白と黒で囲碁をイメージした。



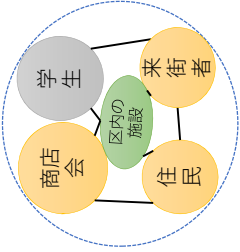
三宿サンサクパン

当初、取り組みのパネルを売店に掲示



### 三宿の小さな輪③ 地域×大学

三色パン購入の際にチラシの配布  
同時に三宿への散策の提案



情報発信

三宿三色パンを通して  
三宿について知ってもらおう！

学生が作成した  
・三宿三色パンのチラシ  
・店頭を使用したPOP

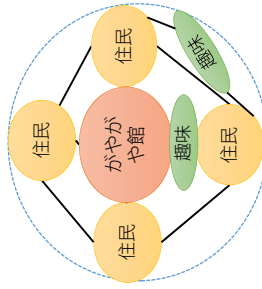


形成される輪

昭和女子大学の学生と商店会のお店がコラボをし、三宿三色パンを作成。今回は公園やせたがや がやがや館などの区内の施設と関連したイメージのパンの企画を通して区内の施設を住民、来街者に知ってもらい、利用してもらおう。これらにつながりができ、輪が形成される。



### 三宿の小さな輪④ せたがや がやがや館 集まる場所としての輪 行政×地域



提案

パン祭りでの地域の方に向けたまちのおすすめ情報のチラシ配布でがやがや館についても紹介

情報発信

より多くの方の施設利用へとつながる

形成される輪

がやがや館を中心に住民が集まり、運動室での運動、娯楽室での麻雀などの趣味を通して人がつながる場となっている。がやがや館を中心として住民同士のつながりが生まれ、人が集まる輪が形成される。



### 3-15. 地域の施設を知ってもらう [せたがや がやがや館]

三宿の小さな輪④  
せたがや がやがや館 集まる場所としての輪

せたがやがやがや館は健康増進・多世代交流を目的とした世田谷区民のための施設

現状

がやがや館の利用人数 (平成25年度)  
総数：93,346人  
飲食店：26,791人  
運動室：25,638人  
娯楽室：3,563人 (マージャン)  
交流室：2,991人 (カラオケ)  
ロビー：9,120人 (マッサージ)  
多目的室：25,243人 (団体利用)  
65歳以上は63% (推定)

プラス面

- ・高齢者の方の健康づくりの場、居場所
- ・高齢者の方の集まる場所、コミュニケーションの場となっている
- ・運動プログラムが豊富にある
- ・区内在住65才以上の方は1日400円で運動室のプログラムに参加可能
- ・月に1回世田谷公園で朝ヨガプログラムを開催
- ・娯楽室では麻雀が楽しめる場  
→同じ趣味の人が集まる場

マイナス面

- ・交流室は大型の部屋であるが、利用者が少ない
- ・夜間利用者が少ない
- ・高齢者の利用者の割合が多く、他世代との交流はあまりない

### 4-1. 三軒茶屋における「まちの輪」を生み出す情報発信のまとめ

三茶で生まれる小さい輪	情報発信	効果
タスマスタンプラリー SONY×商店街×学生×住民×来街者	スタンプラリーが置いてある場所を巡ることで商店街を発信することになる。	タマを通じて幅広い年齢層のつながりが生まれ、商店街を知ってもらえる。
マチコト DeNA×商店街×住民×来街者×学生	地域の情報を自分の目線でマチコトに書き込むことで情報を発信する。	まちの情報を共有することで人との信頼が生まれお互い便利な生活を送ることが出来る。
おしえて！まちの先生！ 商店街×学生×住民×来街者	お店の人と直接会話することによってお店の人も人々に発信することができる。	お店の人と来たお客さん同士の交流が生まれる。知らなかった情報も知ることが出来る。
サバサンだらし 商店街×学生×住民×来街者×トルコ×黒部漁港	サバサンの販売と同時にサバサンに関するチラシを作成し、配布。	サバサンを通して色んな情報も知ることでもでき、さらに人と人のコミュニケーションが生まれる。
銭湯スタンプラリー オーナー×区役所×住民×来街者	銭湯のスタンプラリーを集めることによって多くの銭湯を発信する	多くの人に銭湯の楽しさを知ってもらい新たなつながりが生まれる。
タママップ 学生×SONY×住民×商店街	月に1回程度、タマと一緒に散歩したアンケートで面白いところを入れた写真と共にまちをブログで紹介する。	タママップを発信してタマといっしょのつながりが生まれ、まちの魅力を発信する。

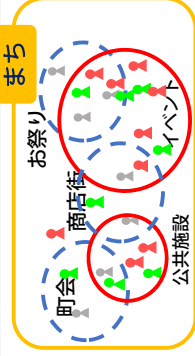
#### 4-2. 三宿における「まちの輪」を生み出す情報発信のまとめ

三宿で生まれる小さな輪	情報発信の仕方	効果
パン祭り地域向けチラシ パン祭り実行委員×学生×商店会× 来街者×周辺施設	世田谷パン祭りへの参加を促すために地元住民に配布した地域向けチラシに三宿周辺施設に情報を入れる	三宿周辺の情報を発信することによって新たなまちの楽しみ方を知ることが出来る。
世田谷公園の売店 学生×サービス公社×住民×売店	パン祭り地域向けチラシに売店の情報を発信	売店の売り上げもupし、売店を中心に人が集まる公園に出来る。
三宿三色パン 商店会×学生×住民×菜街者×区内の施設	世田谷パンまつりで三色パン購入の際に三宿への散歩の提案が書かれたチラシを配布	区内の施設を知ってもらい活用することで輪が広がる。
せたがやがやがや館 住民×がやがや館	パン祭り地域向けチラシにがやがや館の情報を発信	がやがや館を訪れることにより新たなコミュニケーションや新たな生活の楽しみをもってもらえることが出来る。

新たな「まちの輪」や「まちの輪」を伝える情報発信によってあらたな「まちの住民」が「まちの輪」に加わると

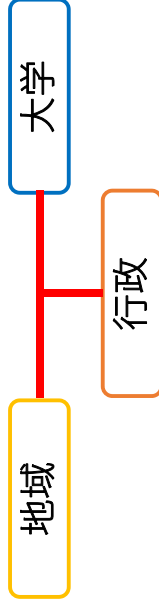


新たに転入してきた住民  
層間の住民：働く人、遊ぶ人、学生・生徒



#### 4-3. 連携する上での提案

#### 行政×地域×大学



地域と大学では太子堂商店街で行われているまち道楽や三宿で行われている世田谷パン祭りなど多くのイベントなどで連携を取っている。

しかし、地域と大学だけでできることには限界があります。そこで、私たちは積極的な行政との連携が必要と考えます。

例えば、太子堂商店街と銀座商店街に面する通りで毎週日曜日に行われている歩行者天国の時間の延長であったり、誰でもイベントが開催できるよう、場所の貸し出しを積極的に行政に行ってもらえることにより更なる輪の広がりがもつことが出来る。

そして、まちでの経験を通して人々に愛着を持ってもらい三茶・三宿に住んでよかったと思ってもらえるようまなちづくりをしていくことが目標である。

※ヒアリング調査、活動にご協力して下さい下さった皆様に感謝いたします。

- ・世田谷サービス公社 中村弘幸氏
- ・三宿四二〇商店会 間中伸也氏
- ・太子堂商店街振興組合 谷中謙介氏
- ・世田谷区産業政策部商業課 堤忠彦氏、増田くに子氏
- ・東京都公衆浴場業生活衛生同業組合 東京都公衆浴場商業協同組合 近藤 芳之氏、山口 欧太郎氏、石川 豊氏
- ・世田谷区太子堂出張所 細山 曜生氏
- ・三軒茶屋まち道楽実行委員会
- ・世田谷パン祭り実行委員会
- ・株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツ
- ・DeNA